

知ろう議会のダイレクトニュース 一步先へ

うれしの 市議会だより



令和8年 第2回定例会

補正予算	2
事業のなかみ	3~4
議案のなかみ・意見書・ 陳情・表彰	5
発議・討論	6~8
賛否表	9
一般質問	10~17
委員会活動	18~19
付託案件・会期日程	19
トピックス	20

発行・嬉野市議会 編集・議会広報編集特別委員会

〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地
TEL 0954(66)9127 FAX 0954(66)2887



一般会計総額で 220億5,647万円に



嬉野市の特定の 事務を取り扱う三郵便局



▲ 五町田郵便局



▲ 久間郵便局



▲ 大草野郵便局

令和8年第2回定例会は5月29日召集、6月19日まで22日間の日程で開催されました。

今議会では、報告4件、条例の制定1件、条例の一部改正4件、特定の事務を取り扱う郵便局の指定1件、令和8年度嬉野市一般会計（第2号）、令和8年度嬉野市国民健康保険特別会計（第1号）の補正予算2件、建設工事請負変更契約の締結1件、財産の取得2件、さらに最終日の6月19日に、源泉に関する特別委員会および塩田庁舎等利活用検討特別委員会を設置及び付託について、皇統の伝統に基づく安定的皇位継承の国会議論促進を求める意見書について、川内聖一議員に対する議員辞職勧告決議についての議員発議4件が上程され、討論を含め慎重審議の結果、すべての議案を可決しました。（賛否表P9）

今議会の主な内容として、市役所一庁舎集約に伴い、現塩田庁舎においても窓口を設置するための嬉野市塩田総合窓口を設置条例を制定し、嬉野市の特定の事務を取り扱う三郵便局が新たに指定されました。また、主な事業としては、新規事業で、温泉配湯事業の譲受の検討に向け各種調査を実施し、譲受価格の算定やリスフ調査、財務モデルの作成を行う温泉配湯検討事業に3500万円、旧医療センター跡地の買い戻しに要する費用に4億円、防災情報を最新の内容に更新したものを作成し配布する防災マップ更新事業に1210万円、中山間地の生産活動を支援する中山間地域所得確保対策事業に456万円等予算化されました。

なお、一般会計全体の補正後の総額は前年同期に比べ9億796万円増の220億5647万円となります。

6億4326万円の増額補正



事業のなかみ



温泉配湯検討事業

3,500万円

この事業は近年、嬉野温泉の源泉水位が低下する中、源泉を所有し旅館などへ温泉を供給している嬉野温泉配湯株式会社より昨年末に申し出のあった温泉配湯事業の譲渡について、配湯事業の譲受に係る各種調査、適切な譲受価格の算定などを実施することで事業の譲受を検討し、ひいては嬉野温泉の温泉資源の保護に資することを目的とする事業です。

問 具体的にどのような調査を行うのか。

答 専門的な知識が必要なため外部委託を予定しており、価値算定、設備投資調査、不動産価値分析・鑑定評価、法務調査、財務調査、財務モデル（収支計画）の作成などを検討している。

問 事業の財源は。

答 すべて市の単独の財源が充当される。



▲ 源泉配湯管

旧医療センター用地買い戻し費

4億円

この4億円は、新しく土地を購入する費用ではありません。

現在の嬉野医療センターの建設時に、土地開発公社が市に代わって先に取得していた土地を、市が買い戻すための費用です。当時、旧医療センター跡地（約11ha）と現在の医療センター用地（約6ha）は、面積は異なるものの、土地の価値が同等となるよう等価交換が行われました。

問 何故、土地開発公社が用地の先行買収を行ったのか。

答 市が直接買収した場合、土地収用法に基づかず、租税特別措置法が該当せず税控除が受けられない。
また、土地開発公社を仲介すると買い戻しの際に国の補助対象となるため土地開発公社が先行買収を行った。



▲ 旧医療センター跡地

防災マップ更新事業

1,210万円

近年、線状降水帯による集中豪雨や大型台風等、全国各地で自然災害が激甚化・頻発化する中で、更なる安心安全なまちづくりに向け、防災マップ更新事業を可決しました。

ここ数年で全国の災害リスク評価や、法の改正など、社会全体の防災体制は大きく変化しており、住民が自分の地域の最新リスクを正しく把握することの重要性が高まっています。災害時の迅速な対応及び日常的に防災意識を高める一助になるよう、防災マップを活用していただきたいと思います。

問 作成部数は。

答 A4サイズの冊子を1万1千部。全世帯配布を予定。

問 公民館等へは。

答 当該地区のみ掲載の大判のハザードマップを配布する。また公共施設等には、冊子及び全地区分の大判地図を配布する。

(注) 激甚化とは…災害などの規模や被害が非常に大きくなること



▲ 命を守る防災マップ

中山間地域所得確保対策事業

456万円

本事業は、過疎化や高齢化といった厳しい環境下にある中山間地域において、持続可能な農業モデルを構築することを目的とする事業です。

単なる生産活動の維持にとどまらず、地域の強みである特産品を再評価し、付加価値を高めるためのブランディング戦略を支援します。

ビジネスモデルの創出も視野に入れ、中山間地域の農業を「稼げる産業」へと変革していくことを目指します。

問 どのような事業か。

答 農業者団体等に対し、県の補助事業を活用し生産活動を支援する。

問 どのような進め方を行なうのか。

答 茶農家のグループが、粉茶等の試作加工や商品開発、販路拡大に向け様々な取組みを行う。

問 事業の財源は。

答 すべて県の財源である。



▲ 付加価値向上を目指すうれしの茶



議案のなかみ



議案第30号

嬉野市塩田総合窓口設置条例について

嬉野市役所が一庁舎に集約されることとなりますが、市民の利便性を損なわないようにするために開設するものです。なお、新庁舎供用開始に合わせ10月13日からの業務開始となる予定です。

議案第35号

嬉野市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について

市役所まで出向くことなくお住まいの近くの郵便局で各種行政サービスを受けられることとなります。

既に指定を受けている吉田郵便局に加え、新たに五町田、久間、大草野の三郵便局を指定するもので、住民票の写しの交付、印鑑登録証明書の発行、戸籍謄本等関連の交付が受けられます。

取扱期間は令和9年1月18日から令和10年3月31日までです。



嬉野市議会から国への意見書

皇統の伝統に基づく 安定的皇位継承の 国会議論促進を求める 意見書

現状の皇室制度のままでは、やがて皇位をご継承になられる悠仁親王殿下をお支える男子皇族が不在となる事態も想定せざるを得ない。また、皇族数の減少は皇室の公務体制の維持のみならず、男系による皇位継承の安定にも影響を及ぼすことが危惧される重大な課題である。政府から国会に「天皇の退位等に関する皇室典範特例法案に対する附帯決議」に関する報告書が提出され、検討の要請がなされてから、4年が経過するも、必要な法整備は未だに実現していない。皇族数の確保と男系による皇位継承の維持は我が国の根幹に関わる重大な課題である。よって、国におかれては、皇室典範の改正に関する一層の議論を進め、一刻も早くその総意をまとめるよう意見書を提出した。

(注)…この意見書は発議第6号として議会で可決されました。

陳情

嬉野市国保はり・きゅう助成制度に関する要望書

嬉野市嬉野町下宿

嬉野市鍼灸マッサージ師会

会長 藤田 達美氏

全国市議会議長会 表彰で3名が受賞

在籍年数20年以上で梶原睦也議員が永年在職議員として全国市議会議長会表彰を受賞されました。
議長4年以上表彰を辻浩一議員が、副議長4年以上表彰を森田明彦議員がそれぞれ受賞されました。



▲ 左から 梶原氏、辻氏、森田氏

川内聖二議員に対する 議員辞職勧告決議について

討論

賛成10

反対4

可決

補正予算

事業のなかみ

議案のなかみ・意見書・
陳情・表彰

発議・討論

賛否表

一般質問

委員会活動

付託案件・会期日程

● 提出者 芦塚 典子

賛成者 山口虎太郎

賛成者 阿部 愛子

賛成者 古川 英子

賛成者 大串 友則

賛成者 水山 洋輔

賛成者 太田 政信

理由 川内聖二議員の行為は

市民の信頼を著しく損なうものであり、その責任は重大であることから、議員辞職を勧告するため本案を提出する。

反対 辻浩一議員

本件で相手方が傷害を負う事になった事は極めて遺憾で、軽視できる事ではない。また、被害者に対して、お見舞いを申し上げるものである。しかしながら、本決議案は議員の辞職を求めるものであり、議会としてとり得る最も重い政治的意思表示の一つである。本件は私人間でおきた事例であり、当事者間では和解が成立し、刑事手続きにおいても

不起訴処分が確定しており、

本件をもって直ちに議員としての職を失うまでと断ずるには慎重にあるべきと考える。よって本議案に反対する。

賛成 大串 友則議員

市民へ暴力を振るう事実
は、到底許されぬ重大な背信行為である。暴力は、理由の如何を問わず人としての倫理が問われる。

また、事件発生から報告まで2ヶ月の不自然な空白期間があった。事実を明かさず謝罪もせず、不誠実さが責任を増大させている。

軽微な処分で済ませるならば、市民は議会に不信任を抱く。自浄能力が試されており、今こそ厳格な姿勢を示すべきである。毅然とした態度で臨む必要があると考え賛成する。

反対 森田 明彦議員

私は本件を軽視するものではありません。ただ、今回提

出の辞職勧告決議案には賛成

しかねます。私人間での問題であり、さらに報道のとおり不起訴処分となっています。

市民の信頼を損ねた事実があるにしても、厳重注意や陳謝で足りないのか、議会の役職辞任では足りないのか。

議会は裁判所ではありません、議会に求められるのは適切な結論を出すことだと考えるが、本決議案はその均衡を欠くものであり、反対いたします。

賛成 水山 洋輔議員

議員は、高い倫理観や責任ある行動が求められる。市民に対して手を上げた事実を重く受け止めなければならない。

この事実を受け、議会では対応の協議を重ねてきた。不起訴となったことや本人の反省、謝罪を重く受け止めるべきとの意見もあるが、警察の捜査結果は、個人の責任を問うものであり、その結果と議員としての在り方や政治的・

道義的責任は別の問題である。

議会として姿勢を示し、説明責任を果たすのか、その対応が問われている。議会としての意思を明確に示すためにも本決議には賛成する。

反対 團 隆則議員

辞職勧告を行うには、市民の信頼を著しく失墜させる重大かつ明白な事実があり、職責の継続が著しく不相当と認められる場合でなければならぬと考えます。議会は捜査機関でも裁判所でもありませんので、暴力事件の内容について追及する権限はありません。

本件は、議員の地位や権限を利用した行為ではなく、注意や陳謝、再発防止策を議論する余地はあっても、直ちに辞職勧告に至るべき事案と断定することはできません。世論や感情に流されて結論を急がず慎重であるべきと考え反対します。

賛成 古川 英子議員

現在、世間では「しつけ」などを名目とした暴力行為に対して厳しい目が向けられ、その結果失職に至る例も全国的に報道されています。

市議会議員は市民より選挙によって選ばれ、その負託を受け職責を担っています。議員には高い倫理観と責任ある行動が求められており、市民は議会が自らを律し、不祥事に対して厳正に対応することを期待されています。

この期待に応えるためにも本件についてはより重い政治的責任を明確にする必要があると考えます。よってこの発議に賛成する。

反対 諸井 義人議員

事案に関して市民の批判が集まっているのは確かだが、議会には説明責任が求められる一方で、関係者の名誉やプライバシーにも配慮しなければいけない。

本人の謝罪・反省・不起訴・要職辞職などを顧みれば、今後議員としての活動・行動を見守り再起のチャンスを与えることも大人の判断と信じている。

最も重い措置を選択することとは適切ではなく、辞職勧告は相当ではないと考える。よって、本決議案には反対する。

賛成 太田 政信議員

決議案は有罪無罪を判断するものではなく、一人の議員を必要以上に非難するものでもありません。しかし、現職議員が傷害容疑で書類送検され、その事実が報道されたことにより、市民の議会への信頼は大きく損なわれました。

不起訴の結果は承知していましたが、議員には市民の代表として、高い倫理観と自律心が求められます。議会全体でこの問題を重く受け止め、信頼回復への第一歩として市民に対し、明確な意思を示す必要があると考え、本議案に賛成いたします。

賛成 阿部 愛子議員

誰であれ暴力行為は絶対あってはならないことです。市民が安心して安全に暮らしたいという思いを、不安にさせて裏切ったことは重大だと思えます。議会に対しても市民の信頼を失うことになると思うためこの議案に賛成します。

賛成 山口 虎太郎議員

私はこれまで壇上から厳しい言葉を言ってきたが、またこの議場で長年の功労に表彰を受けられた議員方々も見て拍手を送りその功労をねぎらってきた。先輩各位が積み重ねた議会の品位をそこない、議員として倫理観のない傷害事件は、政治倫理条例のもと川内議員自ら職を辞すべき。

選挙で選ばれた議員は政治倫理条例のもと市民に範を示す立場にあり、その政治責任は重い。議会は暴力は認めない。議会としても厳しく対処しなければならぬ。辞職勧告決議案に賛成する。

賛成 宮崎 良平議員

議員による暴力行為は言語道断で、市民の不信を招いていること、議会への信頼を損ねた道義的責任は重く容認できない。「暴力を容認しない」という結論には賛成する。

しかし本件は法的決着をみた私人間のトラブルであり、当事者議員は要職辞任や不起訴処分、民事和解に努めてきた。真摯な反省と謝罪には定の理解と配慮が必要である。その上で、拙速で不条理な議事進行や手続き軽視の強行は悪しき前例を残す。議会は「法の支配」と「適正手続き」の正義に基づいた理性的かつ賢明な議会運営を行うべき。

賛成 梶原 睦也議員

本人が暴力を振るった事実を認めていることは極めて重く受け止めなければならない。議会運営委員会においても議会として何ができるか検討を重ねてきたが、有効な措置をとることが出来なかった。暴力の程

度や事情のいかんを問わず、議員自らが暴力行為を認めている以上、市民の信頼を担う議員として看過することはできない。議会の信頼回復と議員としての責任を明確にするために本案に賛成する。

賛成 諸上 栄大議員

辞職勧告決議は、議会が議員に対して自ら職を辞することを求める極めて重い意思表示であります。

また、司法において不起訴の判断がなされており、そのような中で、議会として直ちに辞職勧告を行うことが適切なのか、より慎重な議論や経過を見る必要があるのではないかと熟考しました。

しかしながら、改めて自身の信条や倫理観、そして市民から負託を受けた議員としての責任について考えたとき、最終的に本決議案に賛成すべきであるとの結論に至り、発議第7号に賛成いたします。

議案第35号

嬉野市の特定の事務を 取り扱う郵便局の指定について

討論

賛成13 反対2



反対

太田 政信議員

本議案は、五町田・久間・大草野の各郵便局で証明書交付を行うためのものですが、既にコンビニ交付が利用できる中で、費用対効果が疑問があります。吉田郵便局での実績は年間143件で、その多くはコンビニ交付で対応可能な内容でした。今回の三局拡大には約170万円の補正予算に加え、今後も固定費や管理費が継続して発生し、限られた財源の中では、窓口を増やすよりもコンビニ交付の利用促進や行政手続きのデジタル化を優先すべきと考え、反対します。

賛成

水山 洋輔議員

反対討論で指摘された利用件数や費用対効果の視点も重要ですが、郵便局における証明書交付サービスは、新庁舎への移転に伴い、地域住民が身近な場所で行政サービスを受けられる環境を整備するものです。特に、高齢者の方や移動手段が限られる方にとっては、身近な郵便局で手続きができることは、利便性向上と負担軽減につながるものです。デジタル化が進む中でも誰一人取り残さない行政サービスの実現をすうえで、十分な必要性和意義を有することから賛成します。

議案第36号

令和8年度嬉野市一般会計補正予算（第2号）

討論

賛成14 反対1



反対

太田 政信議員

本補正予算には、市民生活に必要な事業も含まれるが、観光振興推進事業や肥前吉田焼産地再生事業、中山間地域所得確保対策事業には、費用対効果が見えにくいものが多い。
なんちゃってアドバイザー費、時代認識が足りないホームページ更新、アプリ開発に多額の予算を投じて、事業者自身の発信力や販売力が高まらなければ、地域に力は残りません。
限られた財源は、実際に売上や所得向上につながる取り組みに絞り、事業者の本気度を含めて精査すべきと考え、反対します。

賛成

大串 友則議員

反対討論で示された指摘は極めて重要であり、その本質的な危機感と熱い思いには強く共感する。
財政が厳しい現状において、血税の無駄遣いや外部依存を避ける姿勢は議会全体で共有すべき課題である。
しかし、今すぐ実行すべき事業を止めることは市民生活への不利益を招く。予算を承認した上で、執行過程において厳しい監視を続け、徹底したコスト削減と真の成果を強く求める。
漫然とした事業執行は断じて許されない。提起された課題を真摯に受け止め、厳格な運用と効果検証を要望し、本議案に賛成する。

令和8年第2回 定例会議案賛否表(主なもの)

○は賛成 ●は反対 議長は採決に加わりません

議案番号	議 案 名	結 果	表 決 数	番 号														
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
				太田政信	團隆則	水山洋輔	大串友則	古川英子	阿部愛子	諸上栄大	諸井義人	山口虎太郎	宮崎良平	川内聖二	森田明彦	辻浩一	芦塚典子	梶原睦也
議案第30号	嬉野市塩田総合窓口設置条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	嬉野市手数料条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	嬉野市文化振興審議会条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	嬉野市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	嬉野市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	可決	13:2	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	令和8年度嬉野市一般会計補正予算(第2号)	可決	14:1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	令和8年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	建設工事請負変更契約の締結について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	財産の取得について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	財産の取得について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第6号	皇統の伝統に基づく安定的皇位継承の国会議論促進を求める意見書について	可決	13:2	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第7号	川内聖二議員に対する議員辞職勧告決議について	可決	10:4	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	—	●	●	○	○

←次ページからは一般質問

市政を問う



森田 明彦 議員

P10

古川 英子 議員

P10

諸上 栄大 議員

P11

水山 洋輔 議員

P12

大串 友則 議員

P12

芦塚 典子 議員

P13

太田 政信 議員

P14

梶原 睦也 議員

P14

山口 虎太郎 議員

P15

阿部 愛子 議員

P16

團 隆則 議員

P16

宮崎 良平 議員

P17



古川 英子 議員

古川 文教福祉常任委員会より昨年10月に健康づくりについて提言書を提出し、結果を報告していただくよう求めていたが、半年以上経ち報告書を提出された。経緯を伺う。

市長 検討は進めていたが報告が遅くなっていた。健康づくり課長 健診を行うことで異常が見つかり、医療機関の受診や保

古川 1日の目標歩数8000歩のような健康増進のための施策を挙げて欲しいと思い質問してきた。

古川 庁舎移転後の計画はあるのか。

健康づくり課長 庁舎移転後は両庁舎で活用できるように検討したい。



▲ 健康づくりで未来を元気に

嬉野温泉商店街街路灯の現状把握および認識は

答 経年劣化により負担が大きくなっている



森田 明彦 議員

森田 嬉野温泉本通り商店街を中心とした街路灯の現状把握、認識はどうか。また、維持管理については市でも大局的な観点から積極的に関わっていただきたいがいかがか。

市長 地域の安全確保及び観光地としての景観維持に大きな役割を果たしているが、設置から30年が経過、老朽化も進み、今後の維持管理には管理者においても大きな負担であろうと認識し、嬉野市としても国・県の補助を含め研究していく。

観光商工課長 現状も認識し、佐賀県を代表する観光地で、夜間の安全・安心の確保だけでなく、

街並みに調和した景観の整備が必要と感じる。

森田 国道34号三本枝交差点から嬉野中学校前を経由する県道への街路灯設置について過去にもお願いしてきたが、今後も、利用する地域住民の声が多い。改めて県に対し設置の要望をしていただきたいが。

市長 基本的に県道への街路灯設置は難しいと認識しているが、引き続き県と協議を重ねたい。

副市長 地域住民の声を把握した上で、県の担当

部局に伝わるように粘り強く対応していく。

森田 庁内業務のデジタル化、AI業務導入の現状は。

市長 令和2年度からAI・OCR業務を導入している。

森田 教育現場での生成AI等の利用の現状と今後の展開は。

教育長 授業準備の質を高める目的で利用。今後情報モラルに配慮し、国の動向を踏まえ、生成AIを活用する。



▲ 観光地として早急な対応を

中東情勢の混乱による嬉野市への影響は

森田 現状で市への相談等はないか。

観光商工課長 関係団体等と連携、情報収集して、適時対応する。





諸上 栄大 議員

新庁舎建設に伴い 内覧会の実施は

答 できるだけ
調整していく

諸上 新庁舎建設について今後の具体的なスケジュールを伺う。

市長 6月末に建設工事は完了予定。その後、机や椅子などの什器の搬入を行い、9月中旬から事務所内の移転作業を開始する。現時点では、10月4日に落成式を予定している。また、同日に市制20周年記念式典と併せて開催する予定である。

なお、新庁舎での業務開始は10月13日からと予定をしている。

諸上 「新庁舎の内覧会を行ってほしい」と市民の声を多数聞くが、その点についての考えは何か。

市長 完成後、供用開始前に内覧会の要望をいただいており、できるだけ事前に内覧会ができるように調整を進めていきたい。

諸上 嬉野市は、脱炭素社会の実現に向けた取り組みも行っており、この視点も踏まえての新庁舎建設をされている。

内覧会をするにあたり、ゼロカーボンシティ等の脱炭素社会の実現に向けた取り組みを盛り込んだ観点も踏まえた内覧会を実施して欲しいとも考える。

できれば、市内の小・

中学生等に脱炭素についての学習の一環として、取り組んで欲しいと考えるが。

環境政策課長 本議会に補正予算として提出している脱炭素推進業務の中に、市民向けのワークショップ開催がある。

これまでは、子供向けの夏休みの自由研究等に活用できるよう、親子ゼロカーボンワークショップなどを夏休み期間に行っていた。

今年の計画については、新庁舎ZEB建築ということで、環境配慮に関しての説明もできるように、参加型のワークショップ



▲ 供用開始を待つ新庁舎

を新庁舎での体験を踏まえ計画していきたい。

その他の質問

- ・プロポーザル方式について
- ・市内の小学校・中学校について



健康づくりについての 政策提言の取り扱いは

答 重要視している

まった。現在の状況は保健師を健康づくり課に集中させ、予防事業により従事できる体制を取っている。

古川 保健師に従事させた予防的取り組みはどのようなものか伺う。

健康づくり課長 1次予防の健康増進や発症予

健指導などを勧めている。

古川 健康づくりは生まれた時から健康に関して考えていかなければならないと思うが。

健康づくり課長 運動の場の提供が現在少ないと感じている。今後、関係機関と連携を深めていきたい。

び掛けている。

市民が健康増進に関心を持てるような血圧計や体組成計の設置について

古川 現在の設置状況は。

健康づくり課長 塩田庁舎に血圧計を設置した。

古川 政策提言は私たち議員が視察し、全員で検討し提出している。今後は確実に返答をいただきたい。

市長 議員と執行部で連携し、情報交換をしていき政策提言に関しても重要視していく。





大串 友則 議員

大串 西九州新幹線開業から4年が経過しようとしているが駅前の一等地が長期放置されている現状を市はどう認識しているのか。

市長 近年の社会情勢で調整に時間がかかっている。スケジュール通りとは言えず、市民の期待に一度の「駅前連絡会議」で意見交換し、早期着手を依頼している。

大串 長期停滞していることに、契約上の着工期限やペナルティーは設定されていたのか。当時の事業者選定プロセスに不備はなかったのか。

市長 契約にペナル



市長 期限の通告は検討課題であり、市民の指摘を踏まえて協議する。

塩田町の滞在型観光の考えは

答

観光消費の拡大を牽引する重要な施策



水山 洋輔 議員

水山 塩田町の滞在型観光について、塩田津と志田焼の里博物館を連携させた滞在型観光についての考えは。

市長 塩田津の町並みや、志田焼の里博物館は、本市が誇る貴重な観光資源であり、観光と連携させることは、嬉野市全体における観光客の滞在時間の延長や観光消費額の拡大を牽引する重要な施策と考えている。

水山 塩田津における窯業の歴史・文化の活用についての考えは。

市長 塩田津の町並みを一体的に楽しんでもらえる

水山 嬉野市独自の利子補給制度の導入について研究・検討ができないか。

▲ 窯業文化を活かした観光振興を！





芦塚 典子 議員

指定管理者制度について

答 管理は適切に行われている

芦塚 令和7年3月議会で、チャオシルの指定管理料は高額であるという理由で、減額修正動議を提出し可決に至り減額した。しかし、市は令和7年6月議会で、その減額された分を増額した。このような市の会計処理は適切ではないと思うがいかがか。

市長 9年度までの契約なので、今後はしっかりと適切な運営をしていく。

芦塚 チャオシルに関して厚生労働省から事業改善命令が今年1月に出ているが、いつ報告があったか。

うれしの茶振興課長 先に担当課で知り、その後指定管理者の代表から説明があった。

芦塚 内容の報告は。

産業部長 事業改善命令はチャオシルではなく、よその業者と結んだ案件についての事案である。

芦塚 労働者派遣法に違反されている程度を把握しているか。

うれしの茶振興課長 違反の内容は、労働者派遣法第26条の業務の内容・派遣期間・派遣料金他等々である。

芦塚 今回の改善命令の処分を把握しているか。

産業部長 今、事実確認

をしている。

芦塚 この業者と市との間に基本協定書が結ばれているが「著しく社会的信用を損なう等により指定管理者としてふさわしくない場合は指定の取消を命じることができ」とある。厳しい処置が必要ではないか。

市長 他の業者との事例で受けられているので直ちに対応が必要とは考えていないが、今後もし引き続き状況報告を求めている。

芦塚 道の駅うれしの管理料は高すぎないか。

都市計画課長 当初の指

定管理者が否決されたので再度実績等算定した結果8010万円になった。

芦塚 道の駅の令和4年に出された指定管理料は5400万円であるので8千万円では違いすぎる。指定管理者制度のモニタリング評価など作成し、精査する必要があるのか。

市長 契約期間が8年度までなので、9年度以降内容を精査して議会に提案をしていきたい。



▲ 元気に育て！チャオシル体験用茶畑



嬉野温泉駅前は、いつまで未整備が続くのか

答 市民の指摘を踏まえて協議する

沿っていない。厳しい意見を真摯に受け止める。

大串 民間事業者の計画書では、店舗やホテル事業との連携がうたわれた。だが、駅前は塩漬けの土地がある。この1年間、市は事業者に対しどのような進捗確認を行ったか。

都市計画課長 3か月に

ティーはない。しかし、選定時の期待通りではなく、市民の期待を裏切かねない。今後、協議を進めていく。

大串 ペナルティーを科す検討はしたのか。

都市計画課長 応募が1社のみだったこともあり、要望という形で急ぐよう

は確認し、問題はないと認識している。

大串 丸投げでは塩漬けが続く。期限を設けた督促や契約解除、再公募の覚悟はあるか。

市長 現状を肯定はしていない。市も積極的に関わり、期限設定を含めた協議を行う必要がある。



▲ 塩漬け状態の民間開発エリア



梶原 睦也 議員

梶原 現在U・S・P・O（嬉野市中央体育館）に設置している給水器の利用状況は。

教育長 憩いの場所、熱中症対策として有効であり、地域の方や子どもたちにも利用されている。

梶原 市民や観光客に熱中症対策として冷水をマ

避難所の環境整備について

梶原 避難所のトイレの確保は十分か。

市長 既存の使用が困難になった時に備え、簡易トイレを設置している。

梶原 災害時に電気や水が出ないときにすぐに活

避難所になるというケースは発生しにくいと考える。空調設備の整った教室を居住スペースに活用できないか関連する部署と協議する。

梶原 とりあえず体育館にスポーツクローラーや移動式のエアコンを常備できないか。

会計年度任用職員採用について

梶原 本市の会計年度任用職員の採用は「毎年試

験を受ける」となっているがこのまま続けるのか。

市長 今後このまま続ける。



行政窓口及び公共施設におけるキャッシュレス対応は

答 優先度の高い窓口を中心に段階的に検討していく



太田 政信 議員

太田 公共施設のキャッシュレス化はどうなっているか。

社会教育課長 オンライン予約管理システム導入事業などリバティも含めた8施設については今年度内に可能となる予定。

太田 窓口対応する職員の負担軽減できるセルフレジの導入はできないか。

市民課長 一定の効果があると思われるが操作の支援など、職員による対応が必要な場面も多いため、現時点では導入を見送っている。

会計管理者 コンビニ納付スマホ決済など様々な

方法があるので、多額の初期費用や維持管理経費を投じて機器を設置しても、十分な稼働率が見込めるのか課題があると判断した。

押印廃止について

太田 行政手続における押印の廃止または簡略化を進める考えはあるか。

総務課長 今年度4月から押印廃止に向けた取組を開始している。慣例で押印を求めているものは原則廃止、法的に重要性が高いものについては当面押印を継続する。

生成AI活用について

太田 これまで外部委託していた業務について、庁内で完結できるものは積極的に内製化を今後進めていく考えはあるか。

企画政策課長 内製化が可能な業務については活用を進めてまいりたい。

太田 生成AIだけでなく、今後発展していくA・I・E・J・E・N・Tを含めて、どのような分野で活用可能性を検討しているのか。

企画政策課長 個々の導入業務については、担当課と相談しながら、導入



▲ AI活用で生まれた時間を市民サービスへ

の可否を慎重に判断して対応しなければならぬと考えている。

太田 市長はこれから行政運営において、新しい技術や新しい考え方に對し、どのような姿勢で向

き合っていきたいと考えているのか。

市長 時代の変化をしっかりと捉えて、的確な行政運営に努めてまいりたい。





山口 虎太郎 議員

温泉資源保護のための ルール作りは

答

源泉所有者による使用ルールの策定が先決であると考え
注力する

山口 嬉野市の源泉の湧出量はどのように推定されているか。

観光戦略統括監 湧出量は把握していない。

山口 揚湯量に対するお互いのルールづくりは、どのように進められているのか。

観光戦略統括監 源泉所有者会議の中で決めているところである。

現状は日量2500t

山口 嬉野市の源泉の湧出量はどのように推定されているか。

観光戦略統括監 5月の平均水位は、地下マイナース27mである。

山口 国の温泉資源の保護に関するガイドライン改訂版では、全国的に源泉水位が下がっており、モニタリングの重要性が示されている。

嬉野市のモニタリング記録はどう分析されているのか。

観光戦略統括監 毎日データを集計し、月ごとの揚湯量や源泉水位をデータとして蓄積している。

急激な減少があれば、機械の故障等の要因を随

時調査している。

山口 モニタリングから数値をしっかりと導き出し、今後の揚湯量ルールづくりに結びつけるべきである。

市の担当課として限界の数値をはじき出さなければ、所有者も納得しないのではないか。

市長 モニタリングは以前から導入しており、他の温泉地と比べても進んでいる状況である。現在、日量2500tを目標に合意形成を図ることが最たる課題である。

まずは2500tを目標とし、その先の配分を協議することが大きな山



▲ 急げ、源泉保護のルール作りを

であると考えます。

山口 市民を含めた協議会設置はどうされるか。

市長 まずは源泉所有者会議でのルールづくりに注力し、市民へは当面、市報での周知や議会を通じて意見をいただく形になると考えている。

その他の質問

- ・旧医療センター跡地活用について
- ・地域交通手段について



給水スポットの設置を

答

熱中症対策として
前向きに捉える

イボトルに入れて飲んでいただける給水スポットを、市内の公共施設に設置する考えはないか。

市長 熱中症対策の一つとしてかなり効果があると考えている。前向きに捉える。

用できるトイレカーの導入は考えられないか。

市長 私も議員の時に提案した事でもあるので、しっかりと考えていきたい。

梶原 避難所としての学校体育館への空調設備設置の考えは。

防災安全課長 体育館が

市長 財政負担を低減する取組として研究したい。

梶原 体育館以外の避難所の空調設備の設置状況は。

防災安全課長 おおむね設置されている。

梶原 ペットの同行避難の状況は。

防災安全課長 ペットの



▲ 冷たい水はいかがですか！



團 隆則 議員

團 肥前吉田焼産地再生チャレンジ推進協議会で、九州大学の学生とコラボして2名の方が当該事業所に就職していると伺った。陶土業の方でも同じ様な取り組みをする予定はあるのか。

市長 現状そういった取

立たなくなってしまうが、将来を見据えた考えを持っていくのか。

市長 出口戦略をしっかりと見据えて取り組むことも一つの方針と考えている。引き続きどのような取り組みが望ましいのか、具体的なアイデアが



▲ 窯業と陶土業の振興を

高齢者の難聴に対する支援について

答 補聴器購入費助成制度はない



阿部 愛子 議員

阿部 身体障害者手帳保持者以外の高齢者の軽度・中度難聴の支援はどのようにしているか。

市長 身体障害者手帳保持者以外の軽度・中度の高齢者については現時点では、本市独自の補聴器購入費助成制度は設けていない。

阿部 補聴器購入費助成制度を行う考えはないか伺う。

福祉課長 先進事例を参考に、制度設計や財政負担、住民ニーズなど調査研究しながら、今後検討していきたい。

阿部 嬉野市における65歳以上の高齢者の総人口に占める割合はどうなっているか伺う。

福祉課長 現在の高齢化率は36・7%である。

阿部 高齢化が進む中でフレイルの予防、難聴の早期発見・早期対応が、聞こえの状態を改善すると言われている。

そのためには総合的な対策予防が重要視されている。そこで聞こえのフレイル対策はどうなっているのか伺う。

福祉課長 現在認知症カフェや老人クラブの出席講座がある。そこに言語聴覚士などと呼んで、聞こえの相談会やチラシ等を配って周知を図り、早

期発見・早期対応ができるようにしていきたい。

阿部 軽度の難聴時期には受診しないことが多いため、医療に繋がらない。山形市は医療も交えた「聞こえくつきり事業」を行っている。参考にすることを考えはないか伺う。

福祉課長 早期に確認できる仕組みや、体制等を今後検討していきたい。

妊婦健診助成拡充について

阿部 現在、妊娠40週まで14回の妊婦健康診査が受けられるが、40週を過ぎても、安心して必要な健診を受けられるように助成期間を延ばす考えはないか伺う。

健康づくり課長 妊婦健診については9割の方が健診票を数枚残している状況にある。妊娠40週以降の管理については、医師の判断のもとで対応がなされている。

現時点では、妊婦健診票の助成期間延長や、独自の拡充は考えていない。



▲ 庁舎の受付に設置している補聴器





宮崎 良平 議員

財政硬直化への懸念は

答 有利な財源活用を進め持続可能な財政運営に努める

宮崎 人口減少・物価高騰・社会保障費増など厳しい状況の中、令和8年度当初予算が骨格でありながら過去最大規模となった要因と、財政硬直化への懸念を伺う。

市長 新庁舎建設、物価高騰対策、公共施設老朽化、福祉・子育て支援など行政需要が増加した結果である。一方、市税やふるさと納税は減少傾向であり、財政運営には十分な注意が必要。事業の優先順位付け、既存事業の見直し、有利な財源活用を進め、持続可能な財政運営に努める。

宮崎 財政調整基金の適

正水準と今後の見通しは、**財政課長** 標準財政規模の10〜20%が望ましいとされている。嬉野市でも災害や緊急時に備えて15〜16億円程度が必要と考えるが、旧医療センター跡地買戻しなど独自の財政需要もあり、さらにしっかりと積立てを進めたい。

宮崎 総合計画・中期財政計画・公共施設管理計画の整合性は。

企画政策課長 総合計画に市長の政策を反映し、中期財政計画と連動させて事業を進める。

宮崎 自主財源確保のため、ふるさと納税・企業

版ふるさと納税の強化、外部人材活用など攻めの自治体経営が必要では。

市長 歳入確保は重要課題。商品開発や寄附者拡大策を検討し、国の制度改正にも注視する。関係人口の拡大も含め、幅広く取り組む。

宮崎 課題でもある源泉保護・塩田庁舎利活用・公共施設の再編・観光振興・企業誘致等を一体的なプロジェクトとして構想し、自治体自らが地域の将来ビジョンを描いて地域再生計画を策定し、主体的に提案していくべきかと思う。国の第2世代交付金等が特に活用で

きるかと思うがいかがか。

副市長 県を通して手続を取る交付金などもある中で、事象によっては、国へ直接働きかけというものや強い要望、交付金の取扱いに対しても、副市長の立場で必要に応じて取り組んでいく。

その他の質問

- ・中東情勢の緊迫に伴う市への影響について



▲丁寧で大胆な財務運営を



嬉野・塩田の陶土業の将来を見据えた考えを持っているか

答 出口戦略を見据えて取り組む

り組みを自発的にしているとは認知していない。

團 有田焼と波佐見焼の窯業を支えている陶土業であるが、そのほとんどが嬉野市の14の事業所で作られている。

窯業を支える陶土業が途絶えてしまえば、成り

あればぜひ示して頂きたい。

今後、陶石を街中に感じられるような景観作りを考えている。

くのと、北鹿島に買い物に行くのでは往復約50分余計にかかってしまうため、利用者にとってかなり負担になっている現状である。現在、塩田商業施設誘致の進捗状況を伺う。

市長 現状伝えられる範

後契約次第準備を進めてもらえるものと認識している。ドラッグストアの担当者も、生鮮食品を取り扱うような店舗にしたいと確認を取っている。今後最終調整とオープンに向けて期待をしている。

動く!! 委員会



財源の確保について

総務企画常任委員会

調査理由

持続可能な行政サービスの提供に不可欠な自主財源の確保が必要な中、「ふるさと応援寄附金」の減収対策や、現状の基金の運営状況を分析及び検証し、実効性のある新たな財源確保につなげるべく調査した。

委員会の意見

本市のふるさと納税は令和3年度をピークに減少が続く、制度改正や競争環境の変化から寄附額の回復は容易でない状況である。佐賀市以外の返礼品開発が停滞していることから、行政と事業者の情報共有や伴走支援、マーケティング支援の強化が求められる。

また、返礼品に依存しないクラウドファンディング型の活用についても研究を進めるべきである。財政運営では、新庁舎整備や公共施設整備により普通建設事業費が増加し、財政調整基



金の取り崩しが避けられない状況にある。

さらに、学校施設の長寿命化など多額の財政負担が見込まれ、基金より公債費が多い構造が続くことを懸念する。持続可能な財政運営の確立に向けて議会としても引き続き調査していく。

子どもの権利について

文教福祉常任委員会

調査理由

2023年4月に施行された「こども基本法」の施行を受け、子どもを保護対象から「共に未来を創る主体」へと転換し、その声を市政に反映させるための条例整備が必要である。特に環境が激変する今こそ、その基盤固めが急務である。

この課題意識のもと、先進的に「子どもの権利条例」を制定し、救済制度や居場所づくり「リリーフ」を運用している福岡県志免町の取り組みを調査した。

委員会の意見

志免町の先進的な取り組みは、本市が子ども中心の市政を実現する上で極めて有益な示唆を与えている。具体的には、条例を「子どもの最善の利益」を守る法的根拠として位置づけ、その上で「出張リリーフ」のようなアウトリーチ型の支援を確立することが、多様な教育環境の発展に不可欠である。



また、条例制定にあたっては、社会変化に応じて柔軟に検証・改善し続ける「生きた条例」とするための体制を当初から設計に組み込むべきである。

これらの知見を土台として、本市独自の視点を反映させた条例の制定に向け、市長へ強力な提言を行いたい。

市内視察について

産業建設常任委員会

調査理由

公共土木施設の災害復旧事業、温泉病院裏山・丹生川1地区急傾斜地崩壊防止事業並びに橋りょう補修整備事業（花園橋・四本杉橋）、轟の滝公園日子山橋改修について現地の確認と復旧状況を視察し、橋りょうの現況について調査を行った。

委員会の意見

急傾斜地崩壊防止事業を進めている木場地区においては、現地の地形が厳しく排水施設整備工事が必要とし、令和9年度までの長期的な事業を計画している。

橋りょうにおいて、全体の約半分が高度成長期に建設された公共インフラであり老朽化が進行している。人口減少と高齢化が進み、維持管理費を利用者負担で賄うことができない施設での負担は大きい。

しかし市民生活と安全と

福祉の向上のためには、インフラの持続的かつ計画的な管理が必要である。財政の厳しい中、土砂災害や地滑り対策、また橋りょうの長寿命化・耐震化を中心としたインフラ整備が今後計画的に進められることを望む。



特別委員会の設置及び付託について

特別委員会は、市政の重要な課題について、議会が、より詳しく調査・検討するために設置する委員会です。

通常の委員会とは別に、特定のテーマに絞って集中的に協議を行い、必要に応じて関係者から話を伺い、現地を確認し、課題の整理や今後の方向性を検討します。

今回6月定例会にて「源泉に関する特別委員会」、「塩田庁舎等利活用検討特別委員会」を設置しました。嬉野の源泉や塩田庁舎等の利活用に関しては、早急に解決するべき課題だと認識しており、市民に分かりやすく、開かれた議会運営に努め、市政に反映させてまいります。

源泉に関する特別委員会

議長を除く全員

塩田庁舎等利活用検討特別委員会

水山洋輔議員、古川英子議員、芦塚典子議員、阿部愛子議員、團隆則議員、太田政信議員

閉会中の委員会審査(調査)付託案件

令和8年第2回定例会

令和8年第3回(9月)定例会会期日程(案)

開会	8月28日
常任委員会	8月31日、9月1日
議案質疑	9月4日、7日
一般質問	9月9日、10日、11日
討論・採決(決算認定議案以外)	9月15日
議案質疑(決算)	9月17日、18日
決算特別委員会	9月24日、25日、28日
委員長報告、討論・採決、閉会	30日、10月1日
	10月2日

付託事件名	付託委員会名	付託期間
財源の確保について	総務企画常任委員会	次期定例会まで
子どもの権利について	文教福祉常任委員会	次期定例会まで
温泉の管理と整備について	産業建設常任委員会	次期定例会まで
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
源泉に関する調査研究	源泉に関する特別委員会	調査終了まで
塩田庁舎等の利活用に関する調査研究	塩田庁舎等利活用検討特別委員会	調査終了まで

トピックス
ときを読む



▲トルコ日本総領事と



▲浴衣姿が似合ってますね

取材を終えて

ご多忙のなか、対応いただいた荒木さんのご活躍は聞いていましたが、国内にとどまらず、海外にも活動を広げられていることに驚き、改めて今後の活躍にエールを送ります。

Q 今回のイベントのきっかけは？

荒木さん トルコを仕事の拠点とする友人のつてと勧めもあり実現しました。ただ、前例がなかったこともあり、実現まで1年以上を要しました。

市内在住のジャズシンガー・荒木眞衣子さんが今年2月下旬、トルコ・イスタンブールの日本総領事館主催のイベントでコンサートを開き、日本の歌も披露し、国境を越えた交流と日本文化の魅力を伝えてこられたことをお聞きし、お話を伺いました。



あら き ま い こ
荒木 眞衣子さん

Q 訪問時の様子は？

荒木さん 日本総領事館恒例、桜のイベントの前夜祭で、ピアノと2人でジャズや日本の歌、また、トルコの言語でトルコのポピュラー音楽を披露し、大変喜ばれました。

Q 日本文化の魅力発信では何を？

荒木さん うれしの茶のいれ方教室や、浴衣の着付けを楽しむワークショップも実施し、日本人の細やかさを海外で伝えられる意義を改めて感じました。

Q 今後の活動予定は？

荒木さん イベントでのジャズライブ、大手通販の料理TVコマースシャルのフードスタイリストなども続け、言葉や国境を越えて心をつなぐ「旅する文化サロン」をまた海外でやりたいですね。



▲おいしいうれしの茶をどうぞ

議会広報編集
特別委員会

委員長	森田明彦
副委員長	團 隆則
委員	芦塚典子
	川内聖二
	宮崎良平
	阿部愛子
	大串友則

C COLUMN

佐賀の歴史について皆様は興味があるでしょうか？佐賀の歴史という、いわゆる幕末の時代が最も栄えたとのことで、その中でも佐賀七賢人や葉隠を語った山本常朝など人気があると思います。▼今回藩政史研究家の大園隆二郎先生のお話を聞く機会があり、「嬉野・塩田の歴史こぼれ話」を演題として、佐賀藩政の歴史について学びました。鍋島直正公が長崎警備に向かう途中嬉野の大村屋に泊まった話など、歴史的資料を用いて史実に基づいた話を聞くことができました。▼その中でも特に印象的だったのは、最新鋭の大砲を作る際、何度も失敗し費用がかさみ、技術者が申し訳なく切腹する状況に追い込まれた時の、『失敗を恐れず、さらに研究を重ねて大砲を完成させてもらいたい』との鍋島直正公の言葉でした。▼私も何事もあきらめず頑張りたい。

(隆則)